

事業所における放課後等デイサービス自己評価表結果（公表）

公表：令和 6年 2月 13日

事業所名：厚岸町子ども発達支援センター

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		中高生、小学校高学年になるとセンター内では狭く、広いスペースを借りて活動を行うこともあります。	センター内でできる活動を考えています。広いスペースが必要になる活動の際には、施設内の別なスペースを借りて活動を行います。
	②	職員の配置数は適切である	○			人手が少ない時には、曜日変更をお願いしたり、送迎の際に保護者に迎えに来てもらうをお願いしています。	今後も、人手が少ない際には曜日変更や保護者送迎などお願いしていきます。また保健福祉課職員とも連携していきたいと思います。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○				
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○				
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		法人全体で検討しています
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇の際には、普段できない外出や買い物学習、映画鑑賞などの取り組みを取り入れています。	今後も保護者や利用者の意向を確認しながら、普段ではできない活動に取り組みたいと思います。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○				
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
	⑯	支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		送迎で遅くなった時にはできないこともあるが、次の日に話し合いの時間を設けるようにしています。	できるだけその日のうちに話し合いの時間を設け、児童の状況等を職員が共通理解し、振り返りすぐに支援に生かせるようにしていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○				
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			○	各自クラブや児童館などを利用しているため、事業所としては設けていません。	各自でクラブや児童館を利用し、センターとしては交流を目的としていないため、機会を設けていません。
	②⑦	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○				
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え会い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		電話や時間を設けて、相談に応じているが、ペアレントトレーニングは行っていません。	ペアレントトレーニングを教えられる有資格者が居ませんが、日々の活動の様子をお話したり、保護者からの困りごとには相談に乗り、わかりやすく伝えていきたいと思います。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		感染症や職員の配置から開催できていないが、開催できる状況であれば開催を考える。	今後は、日程を決め開催できるようにしていきたいと思います。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月センターのお便りを発行しています。行事の際も、お便りを発行し周知しています。	今後も継続して、日々の活動などがわかるようにお便りの発行などをしていきたいと思います。
	③⑮	個人情報に十分注意している	○				
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	事業所としては地域住民を招待することはありませんが、こう福祉や地域で開かれた行事には機会があれば参加しています。	地域で開催されている行事があれば、保護者の意向も確認し参加していきたいと思います。
非常時等の対応	④⑧	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				
	④⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○				
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				

○この「事業所職員向け放課後等デイサービス自己評価表（結果）」は、事業所全体で行なった自己評価です。